

(3) 他事業への展開、実用化、商品化、起業化実績

① 他事業への橋渡し実績

(ア) 文部科学省関連事業

事業名：科学研究費補助金制度 基盤研究(C)、平成20年度採択
資金を出す機関：独立行政法人日本学術振興会 予算規模：462万円 事業期間：平成20年度及び平成22年度
サブテーマ：1-1 吸着材と担持体技術（平成19年度） 小テーマ：1-1-① 天然骨を原料にした吸着材の調製（平成19年度）
サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 首都大学東京、教授、益田秀樹（平成19年度） 研究従事者（所属、役職、氏名）： 東京都立産業技術研究センター、主任研究員、瓦田研介
特許：無
参画機関（企業含む）： 東京都立産業技術研究センター
研究概要： 木質材料が放散する有機酸の発生メカニズムの解明をする。

事業名：地域ニーズ即応型、平成20年度採択
資金を出す機関：：(独) 科学技術振興機構 予算規模：1000万円 事業期間：平成20年10月～平成21年3月
サブテーマ：2-1 捕集・分解技術（平成20年度） 小テーマ：2-1-② VOC捕捉技術の開発（平成20年度）
サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 株式会社モリカワ、代表取締役、森川 潔（平成20年度） 研究従事者（所属、役職、氏名）： 東京都立産業技術研究センター、研究員、紋川 亮
特許：無
参加研究機関（企業含む）： 東京都立産業技術研究センター、コアフロント株式会社、日本大学
研究概要： 本研究は、JST東京都地域結集事業の成果（アパタイト（骨組成成分）に関する研究）をシーズとしている。概要は、歯周組織再生療法の細胞源となる歯小嚢細胞（歯周組織形成細胞）を播種した後、分化を制御しながら増殖させて回収するまでの全培養工程を、閉鎖系で実施するための小型細胞培養用デバイスを開発する。

事業名：科学研究費補助金（基盤研究B）、平成23年度採択
資金を出す機関：日本学術振興会 予算規模：20,000千円 事業期間：平成23年4月～平成24年3月

サブテーマ：3-2 VOC 処理用材料の開発（平成 22 年度） 小テーマ：3-2 VOC 処理用材料の開発（平成 22 年度）
サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 研究従事者（所属、役職、氏名）： ①慶應義塾大学 教授 今井宏明 ②東京都立産業技術研究センター、研究員、渡辺洋人
特許：有 「多孔質シリカならびにその製造方法および集合体」（特願 2010-48371 号・平成 22 年 3 月 4 日）
参加研究機関（企業含む）： 慶應義塾大学、東京都立産業技術研究センター
研究概要： 本研究は、J S T 東京都地域結集事業の成果（メソポーラスシリカに関する研究）をシーズとしている。本研究では、無溶媒メソポーラスシリカ合成法を進展させ、①ミクロ孔径制御と制御因子の解明、②スーパーミクロ孔内包による新たな機能性発現の検証、③自己組織化の材料合成を進める。これらによって、新規の機能性材料を開発する。

(イ) 経済産業省関係事業

事業名：基準認証研究開発事業（排ガス中の揮発性有機化合物(VOC)濃度の測定法に関する標準化)、平成 20 年度採択
資金を出す機関：社団法人産業環境管理協会 予算規模： 事業期間：平成20年4月～平成21年3月
サブテーマ：2-1 捕集・分解技術（平成 19 年度） 小テーマ：2-1-② VOC 捕捉技術の開発（平成 19 年度）
サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 株式会社モリカワ、代表取締役、森川 潔（平成19年度） 研究従事者（所属、役職、氏名）： 東京都立産業技術研究センター、主任研究員、木下稔夫
特許：無
参画機関（企業含む）： 東京都立産業技術研究センター
研究概要： 経済産業省から委託を受けた社団法人産業環境管理協会から、委員の委嘱を受けたのが発端である。本事業の概要は、①実排ガスによる測定試験・不確かさの評価、②VOC濃度自動計測法のWD原案の作成、③国内委員会による測定方法の性能評価検討、④海外との意見調整などを行なう。特に本年度は、①を重点的に行なう。

事業名：新連携対策補助金、平成 20 年度採択
資金を出す機関：経済産業省中小企業庁 予算規模：3000 万円 事業期間：平成 20 年 12 月～平成 22 年度 3 月
サブテーマ名：2-1 捕集・分解技術（平成 20 年度） 小テーマ名：2-1-⑤ プラズマによる VOC 処理効率の向上（平成 20 年度）

<p>サブテームリーダー（所属、役職、氏名）： 株式会社モリカワ、代表取締役、森川 潔（平成 20 年度）</p> <p>研究従事者（所属、役職、氏名）： ①インパクトワールド株式会社、代表取締役、林 佑二 ②東京都立産業技術研究センター、主任研究員、三尾 淳</p>
<p>特許：有 「ガス浄化装置、プラズマ生成用電極、及びガス浄化方法」（特願 2009-204833 号・平成 21 年 9 月 4 日出願）</p>
<p>参加研究機関（企業含む）： インパクトワールド株式会社（コア企業として）</p>
<p>研究概要： プラズマと触媒との融合技術による、有害ガス浄化サービスの事業化。</p>

<p>事業名：中小企業・ベンチャー挑戦支援事業のうち実用化研究開発事業、平成 20 年度採択</p>
<p>資金を出す機関：経済産業省中小企業庁 予算規模：3000 万円 事業期間：平成 20 年 8 月から</p>
<p>サブテーム名：2-1 捕集・分解技術（平成 20 年度）、2-2 計測技術（平成 20 年度） 小テーマ名：2-1-② VOC 捕捉技術の開発（平成 20 年度）、2-2-③ 微細加工技術の開発（平成 20 年度）</p>
<p>サブテームリーダー（所属、役職、氏名）： 2-1 株式会社モリカワ、代表取締役、森川 潔（平成 20 年度）、 2-2 東京医科歯科大学、教授、三林浩二（平成 20 年度）</p> <p>研究従事者（所属、役職、氏名）： ①東京都立産業技術研究センター、研究員、紋川 亮 ②東京都立産業技術研究センター、主任研究員、加沢エリト</p>
<p>特許：有 「局所表面プラズモン共鳴イメージング装置」（特願 2008-64141 号・平成 20 年 3 月 13 日出願）</p>
<p>参加研究機関（企業含む）： セキテクトロン株式会社（コア企業として）、東京都立産業技術研究センター、東京大学</p>
<p>研究概要： 本研究では、金ナノパターン表面に光を照射した際に発生する局在プラズモン(LSPR)を利用して、非標識 LSPR 法チップリーダー装置を開発する。大量のタンパク質を迅速かつ正確に認識するとともに、コスト低減を目指す。本研究は、J S T 東京都地域結集事業の成果（センサ開発）の活用・応用である。</p>

(ウ) その他の省庁関係事業

事業名：環境省技術実証事業 VOC 処理技術分野（中小事業者向け VOC 処理技術）、平成 20 年度採択
資金を出す機関：環境省 予算規模：なし 事業期間：平成20年9月から平成21年3月
サブテーマ：2-2 計測技術（平成20年度） 小テーマ：2-2-⑤ SPM成分分析技術の開発（平成20年度）
サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 東京医科歯科大学、教授、三林浩二（平成20年度） 研究従事者（所属、役職、氏名）： 東京都環境科学研究所、調査研究部長、横田久司
特許：無
参画機関（企業含む）： 東京都環境科学研究所が参加企業を公募する。
研究概要： 既に適用可能な段階にあり、有用と思われるものの、普及が進んでいない先進的環境技術について、地方公共団体、企業、消費者等のエンドユーザーが安心して使用することができるように、その環境保全効果等を第三者機関が客観的に実証する事業。

事業名：環境技術実証事業検討会 VOC 処理技術（中小事業者向け VOC 処理技術）、平成 20 年度採択
資金を出す機関：財団法人日本環境衛生センター、環境省 予算規模：なし 事業期間：平成 20 年 9 月から平成 21 年 3 月
サブテーマ名：2-1 捕集・分解技術（平成 20 年度） 小テーマ名：2-1-① VOC 処理実験装置の試作（平成 20 年度）
サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 株式会社モリカワ、代表取締役、森川 潔（平成 20 年度） 研究従事者（所属、役職、氏名）： 東京都立産業技術研究センター、デザイングループ長、木下稔夫
特許：無
参加研究機関（企業含む）： におい・かおり環境協会、産業技術総合研究所、東京都立産業技術研究センター、東京都環境局、埼玉大学、日本産業洗浄協議会、上智大学、共同印刷株式会社
研究概要： 本実証事業における目的は、対象技術の環境保全効果（VOC の排出抑制能力、脱臭能力）などの重要な性能を試験等に基づく客観的データによって、ユーザーに示すことである。具体的には、VOC 排出抑制技術・脱臭技術は、多様性と独自性に富んでおり、試験方法を画一的に規定することは適当でない面があると思われるため、本実証試験要領において、実証機関による本技術分野の実証試験における共通の手順・実証項目等を規定する。

事業名：新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業、平成 21 年度採択

資金を出す機関：農林水産省 予算規模：111,239千円（3年間の総計） 事業期間：平成21年度～平成23年度
サブテーマ名：1-1 大風量低濃度処理装置の開発（平成21年度） 小テーマ名：1-1-② 木質系吸着材の開発（平成21年度）
もとになった研究従事者（所属、役職、氏名） 東京都立産業技術研究センター、主任研究員、瓦田研介
特許：無
参加研究機関（企業含む）： 森林総合研究所、協同組合エスウッド、静岡大学、東京農工大学、工学院大学、東京都立産業技術研究センター
研究概要： 乾燥工程を省略したボード製造技術の開発を課題としている。具体的には、高含水率の木材原料に用いたボード製造において問題となっているパンクにつき、これを効率よく防止する技術を開発する。更に、当該パンクのメカニズム解明や、高温高压下での接着剤劣化、VOC排出に対応した研究も進める。

(4) 自治体単独事業

事業名：東京都重点戦略プロジェクト支援事業、平成20年度採択
資金を出す機関：東京都 予算規模：5,000万円／年度 事業期間：平成20年12月～平成23年2月
サブテーマ名：2-2 計測技術（平成20年度） 小テーマ名：2-2-③ 微細加工技術の開発（平成20年度）
サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 東京医科歯科大学、教授、三林浩二（平成20年度） 研究従事者（所属、役職、氏名）： ①東京都立産業技術研究センター、研究員、紋川 亮 ②東京都立産業技術研究センター、主任研究員、加沢エリト
特許：有 「局所表面プラズモン共鳴イメージング装置」（特願2008-64141号・平成20年3月13日出願）
参加研究機関（企業含む）： セキテクノトロン株式会社（コア企業として）、東京都立産業技術研究センター、東京大学、東京理科大学、東京都精神医学総合研究所
研究概要： タンパク質アレイチップとタンパク質アレイイメージング装置とから構成され、ミリからナノ領域までのタンパク質相互作用検出システムの開発を行う。そして、当該システムによって、精神疾患や生活習慣病などに関与するタンパク質を検出・解析し、これら疾患の病因特定や発症メカニズムの解明、治療方法の開発へと活用する。なお、本研究は、JST東京都地域結集事業の成果（センサ開発）を活用・応用する。

事業名：都産技研・首都大連携事業、平成21年度採択

資金を出す機関：東京都 予算規模：5,000万円（3年間） 事業期間：平成22年4月から3年間
サブテーマ名：1-2 長寿命センサの開発（平成23年度） 小テーマ名：
サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 研究従事者（所属、役職、氏名）： ①東京都立産業技術研究センター、主任研究員、加沢エリト ②東京都立産業技術研究センター、研究員、紋川 亮 ③東京都立産業技術研究センター、研究員、杉森博和 ④東京都立産業技術研究センター、研究員、中川朋恵
特許：有 「局所表面プラズモン共鳴イメージング装置」（特願2008-64141号・平成20年3月13日出願）
参加研究機関（企業含む）： 東京都立産業技術研究センター、首都大学東京
研究概要： 本研究では、金ナノパターン表面に光を照射した際に発生する局在プラズモン(LSPR)を利用して、非標識LSPR法チップリーダー装置を開発する。大量のタンパク質及びその相互作用を迅速かつ正確に認識・検出し、コスト低減を図る。本研究は、JST東京都地域結集事業の成果（センサ開発）を活用・応用する。

事業名：新製品・新技術開発助成事業、平成23年度助成
出資機関：東京都中小企業振興公社 予算規模：5,339千円 事業期間：平成23年度
サブテーマ名：2-1 有害ガス・塵埃処理装置の開発（平成20年度） 小テーマ名：2-1-1 VOC処理実験装置の試作（平成20年度）
サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 株式会社モリカワ、代表取締役、森川 潔（平成20年度） 研究従事者（所属、役職、氏名）： ①株式会社モリカワ、代表取締役、森川 潔 ②東京都立産業技術研究センター、研究員、杉森博和
特許：無
参加研究機関（企業含む）： 株式会社モリカワ、東京都立産業技術研究センター
研究概要： VOCガスの地域リサイクルシステムを開発する。

②実用化されたもの（技術的には商品化するまでに至っているが、販売等何らかの課題があるため、市販を行っていないものを記述してください。）

<p>製品（技術）概要：</p> <p>本技術は、NAD⁺又は NADP⁺を補酵素とする脱水素酵素の基質を検出するバイオセンサシステムであり、高輝度紫外線 LED(UV-LED)を励起光源に適用した、小型かる簡便なアルコール計測システムである。</p>
<p>サブテーマ名：2-2 計測技術（平成 19 年度）</p> <p>小テーマ名：2-2-① VOC スニファデバイスの開発（平成 19 年度）</p>
<p>サブテームリーダー（所属、役職、氏名）：</p> <p>東京医科歯科大学、教授、三林浩二</p> <p>研究従事者（所属、役職、氏名）：</p> <p>①東京医科歯科大学、教授、三林浩二</p> <p>②東京医科歯科大学、講師、工藤寛之</p>
<p>特許：有</p> <p>「バイオセンサシステム」（特願 2008-8191 号・平成 20 年 1 月 7 日）</p>
<p>参加研究機関：</p> <p>東京医科歯科大学、東京都立産業技術研究センター</p>
<p>企業：K 株式会社（本プログラム参画以外の企業）</p>

<p>製品（技術）概要：</p> <p>本技術は、ホルムアルデヒド（FA）脱水素酵素を分子認識素子として用い、FA によって還元された NADH を蛍光で検出するバイオセンサシステムである。高輝度紫外線 LED(UV-LED)とフォトダイオードを使用して、ガス選択性に優れ、高感度で応答速度の速い可搬型製品化モデルを試作した。</p>
<p>サブテーマ名：1-1 バイオセンサの開発（平成 23 年度）</p> <p>小テーマ名：</p>
<p>サブテームリーダー（所属、役職、氏名）：</p> <p>研究従事者（所属、役職、氏名）：</p> <p>①東京医科歯科大学、教授、三林浩二</p> <p>②東京医科歯科大学、講師、工藤寛之</p> <p>③東京都立産業技術研究センター、研究員、王 昕</p> <p>④東京都立産業技術研究センター、研究員、月精智子</p> <p>⑤柴田科学株式会社、開発担当役員、小山博巳</p> <p>⑥柴田科学株式会社、検証課課長、左成信之</p> <p>⑦柴田科学株式会社、和田俊明</p>
<p>特許：無</p>
<p>参加研究機関：</p> <p>東京医科歯科大学、東京都立産業技術研究センター、柴田科学株式会社</p>
<p>企業：柴田科学株式会社</p>

<p>製品（技術）概要： 本技術は、従来の光イオン化センサ（PID）にチャージ方式を導入し、電極汚れに対する感度の低下を抑えて、メンテナンス性を向上させたセンサである。高感度な可搬型試作機を製作した。新機能の付与も検討している。</p>
<p>サブテーマ名：1-2 長寿命センサの開発（平成 23 年度） 小テーマ名：</p>
<p>サブテマリーダー（所属、役職、氏名）： 研究従事者（所属、役職、氏名）： ①東京都立産業技術研究センター、研究員、平野康之 ②東京都立産業技術研究センター、副主任研究員、原本欽朗 ③東京都立産業技術研究センター、副代表研究者、吉田裕道 ④理研計器株式会社、執行役員 研究部長、中野信夫</p>
<p>特許：有 ①「揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法」（特願 2011-175078 号・平成 23 年 8 月 10 日） ②「イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法」（特願 2011-201762 号・平成 23 年 9 月 15 日）</p>
<p>参加研究機関： 東京都立産業技術研究センター、理研計器株式会社</p>
<p>企業：理研計器株式会社</p>

<p>製品（技術）概要： 本事業の成果であるミスト処理に活用できる金属フィルターについて、これを製造する装置（編機）やフィルターを製造販売する。</p>
<p>サブテーマ名：2-3 VOC 処理技術の評価（平成 23 年度） 小テーマ名：</p>
<p>サブテマリーダー（所属、役職、氏名）： 研究従事者（所属、役職、氏名） ①東京都立産業技術研究センター、上席研究員、樋口明久 ②東京都立産業技術研究センター、主任研究員、堀江暁</p>
<p>特許：有 ①「編成体及びその製造方法」（特願 2008-174673 号・平成 20 年 7 月 3 日（特開 2010-13762 号公報）） ②「編針及びその製造方法」（特願 2009-134114 号・平成 21 年 6 月 3 日（特開 2010-13787 号公報））</p>
<p>参加研究機関： 東京都立産業技術研究センター</p>
<p>企業：SS 株式会社（本プログラム参画以外の企業）</p>

<p>製品（技術）概要： 家畜骨残渣から効率よくアパタイト成分を取り出し、これをアパタイト材として利用する。</p>
<p>サブテーマ名：1-1 吸着材と担持体技術（平成20年度） 小テーマ名：1-1-① 天然骨など産廃物を原料にした吸着材の開発（平成20年度）</p>

サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 首都大学東京、教授、益田秀樹（平成20年度） 研究従事者（所属、役職、氏名）： 東京都立産業技術研究センター、研究員、柳 捷凡
特許：有 「家畜骨残渣の処理方法」（特願2009-266467号・平成21年11月24日（特開2011-109928号公報））
参加研究機関： 東京都立産業技術研究センター
企業： 株式会社E（本プログラム参画以外の企業）

③商品化されたもの（実際に市販まで至っているものを記述してください。）

商品名：高感度毒ガスモニター（型式：FP-300）
商品概要： 共同研究機関の理研計器㈱において、VOC等の毒性ガス測定器の電子回路を開発し、自動計測可能なホルムアルデヒドを対象とするガスモニターとして商品化を行なった。
サブテーマ：2-2 計測技術（平成20年度） 小テーマ：2-2-④ 計測用電子回路の開発（平成20年度）
サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 東京医科歯科大学、教授、三林浩二（平成20年度） 研究従事者（所属、役職、氏名）： 理研計器株式会社、執行役員 研究部長、中野信夫
特許：無
企業： 理研計器株式会社
販売実績（販売個数、売上金額等）：

商品名：電気移動度分級器（型式：DMA-5120）
商品概要： 本装置は、粒子を高精度に分級できる電気移動度分級器（DMA）とファラデーカップ（FCE）とを一体化した装置であり、環境中に浮遊している粒子の粒径別の数濃度と表面積を計測する装置である。共同研究機関の柴田科学㈱において、有害物質の効率的な除去技術の検討や除去装置の効果を評価する上で効力を発揮する装置として開発し、商品化を行なった。
サブテーマ名：2-2 計測技術（平成20年度） 小テーマ名：2-2-⑤ SPM成分分析技術の開発（平成20年度）
サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 東京医科歯科大学、教授、三林浩二（平成20年度） 研究従事者（所属、役職、氏名）： ①柴田科学株式会社、常勤技術顧問、新関満 ②柴田科学株式会社、開発担当役員、小山博巳 ③柴田科学株式会社、環境開発課係長、井川誠司 ④東京都環境科学研究所、調査研究部長、横田久司、 ⑤東京都環境科学研究所、主任研究員、上野広行

特許：無
参加研究機関： 柴田科学株式会社、東京都環境科学研究所
企業：柴田科学株式会社
販売実績（販売個数、売上金額等）：

商品名：電気移動度分級器（型式：DMA-5160）
商品概要： 本装置は、粒子を高精度に分級できる電気移動度分級器（DMA）とファラデーカップ（FCE）とを一体化した装置であり、環境中に浮遊している粒子の粒径別の数濃度と表面積を計測する装置である。共同研究機関の柴田科学(株)において、有害物質の効率的な除去技術の検討や除去装置の効果を評価する上で効力を発揮する装置として開発し、商品化を行なった。
サブテーマ名：2-2 計測技術（平成 20 年度） 小テーマ名：2-2-⑤ SPM 成分分析技術の開発（平成 20 年度）
サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 東京医科歯科大学、教授、三林浩二（平成 20 年度） 研究従事者（所属、役職、氏名）： ①柴田科学株式会社、常勤技術顧問、新関満 ②柴田科学株式会社、開発担当役員、小山博巳 ③柴田科学株式会社、環境開発課係長、井川誠司 ④東京都環境科学研究所、調査研究部長、横田久司、 ⑤東京都環境科学研究所、主任研究員、上野広行
特許：無
参加研究機関： 柴田科学株式会社、東京都環境科学研究所
企業：柴田科学株式会社
販売実績（販売個数、売上金額等）：

商品名：電気移動度分級器（型式：DMA-5180）
商品概要： 本装置は、粒子を高精度に分級できる電気移動度分級器（DMA）とファラデーカップ（FCE）とを一体化した装置であり、環境中に浮遊している粒子の粒径別の数濃度と表面積を計測する装置である。共同研究機関の柴田科学(株)において、有害物質の効率的な除去技術の検討や除去装置の効果を評価する上で効力を発揮する装置として開発し、商品化を行なった。
サブテーマ名：2-2 計測技術（平成 20 年度） 小テーマ名：2-2-⑤ SPM 成分分析技術の開発（平成 20 年度）

<p>サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 東京医科歯科大学、教授、三林浩二（平成 20 年度）</p> <p>研究従事者（所属、役職、氏名）： ①柴田科学株式会社、常勤技術顧問、新関満 ②柴田科学株式会社、開発担当役員、小山博巳 ③柴田科学株式会社、環境開発課係長、井川誠司 ④東京都環境科学研究所、調査研究部長、横田久司、 ⑤東京都環境科学研究所、主任研究員、上野広行</p>
特許：無
<p>参加研究機関： 柴田科学株式会社、東京都環境科学研究所</p>
企業：柴田科学株式会社
販売実績（販売個数、売上金額等）：

商品名：有害ガス浄化装置（型式：VOC Killer）
<p>商品概要： 本装置は、大気圧プラズマ励起と触媒活性を相乗させた技術（PACT:Plasma Assisted Catalytic Technology）により、小型・計量・高分解率・メンテナンス容易な装置を実現した。手術用笑気ガス（N₂O）、医療用滅菌ガス（EOG）、病理用ホルムアルデヒド（HCHO）などの分解・浄化に有効である。平成 22 年度の第 23 回中小企業優秀新技術・新製品賞奨励賞を受賞した。</p>
<p>サブテーマ名：2-1 捕集・分解技術（平成 20 年度） 小テーマ名：2-1-⑤ プラズマによる VOC 処理効率の向上（平成 20 年度）</p>
<p>サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 株式会社モリカワ、代表取締役、森川 潔（平成20年度）</p> <p>研究従事者（所属、役職、氏名）： ①インパクトワールド株式会社、代表取締役、林 佑二 ②東京都立産業技術研究センター、主任研究員、三尾 淳</p>
<p>特許：有 「ガス浄化装置、プラズマ生成用電極、及びガス浄化方法」（特願2009-204833号、平成21年9月4日出願（特開2011-050929号））</p>
<p>参加研究機関： インパクトワールド株式会社、東京都立産業技術研究センター</p>
企業：インパクトワールド株式会社
販売実績（販売個数、売上金額等）：

商品名：リアースサービス
<p>商品概要： 特別な初期投資の必要がなく、新液購入費のコストダウンと環境対策を実施できるサービスを提供する。</p>
<p>サブテーマ名：1-1 大風量低濃度処理装置の開発（平成 21 年度） 小テーマ名：1-1-① 処理システムの開発（平成 21 年度）</p>
<p>サブテーマリーダー（所属、役職、氏名）： 株式会社モリカワ、代表取締役、森川 潔（平成21年度）</p> <p>研究従事者（所属、役職、氏名）：</p>

①株式会社モリカワ、代表取締役、森川 潔 ②東京都立産業技術研究センター、副主任研究員、武田有志 ③東京都立産業技術研究センター、副主任研究員、杉森博和
特許：無
参加研究機関： 株式会社モリカワ、東京都立産業技術研究センター
企業：株式会社モリカワ
販売実績（販売個数、売上金額等）：

④ 起業化されたもの（ベンチャー企業等）

企業名： 株式会社東京電子回路
企業概要： ①設立日：平成23年10月3日 ②資本金：500万円 ③代表取締役：吉田裕道 ④重点4分野分類：IT ⑤所在地：東京都板橋区蓮根二丁目31番7号 ⑥業務内容：定款より <ul style="list-style-type: none"> ・電子回路の設計、製造、販売 ・計測機器の設計、製造、販売 ・環境浄化装置の設計、製造、販売
サブテーマ： 1-2 長寿命センサの開発（平成23年度）
サブテームリーダー（所属、役職、氏名）： 研究従事者（所属、役職、氏名）： ① 東京都立産業技術研究センター、雇用研究員、井上潤 ② 理研計器株式会社、執行役員 研究部長、中野信夫 ③ 東京都立産業技術研究センター、副主任研究員、原本欽朗、 ④ 東京都立産業技術研究センター、研究員、平野康之 ⑤ 東京都立産業技術研究センター、副代表研究者、吉田裕道
特許：有 ①「光イオン化検出器及び光イオン化検出方法」（特願2009-106520・平成21年4月24日（特開2010-256165）） ②「揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法」（特願2011-175078・平成23年8月10日） ③「イオン化ガス検知器及びイオン化ガス検出方法」（特願2011-201762・平成23年9月15日）
参画機関： 東京都立産業技術研究センター、理研計器株式会社
販売実績（販売個数、売上金額等）： 環境センサを開発中、フェーズⅢ（平成25年）発売予定